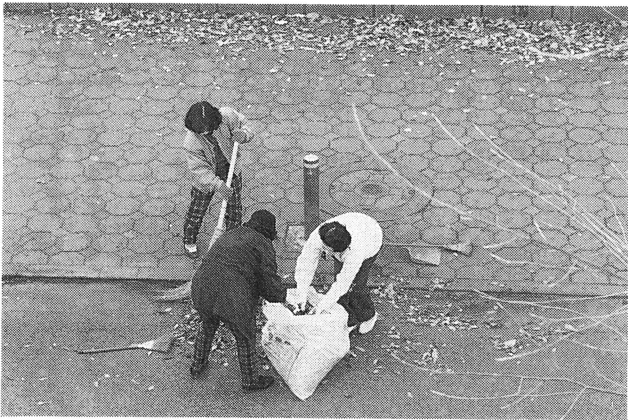




ゆり北

第173号 (16期第7号)

発行・光が丘パークタウン

ゆりの木北自治会

東京都板橋区赤塚新町

3-32-4-403

電話03(3938)9181番

発行責任者 吉 柳 俊 孝

清潔さと安全は

ひとりひとりの自覚から

年末大掃除 12月20日(日)

年末大掃除は、十二月二十日(日)午前十時から正午頃まで行ないます。住棟のまわりの自転車置き場や植栽の中に捨てられた缶などを片付けます。階段や二階以上の通路などは、日常清掃の対象外ですから、この機会に皆でやりましょう。

団地周辺の歩道の植込みもかなり汚れています。この機会にきれいにし、気持ち良く正月を迎えましょう。

大掃除の時に併せて、**自転車整理**を行ないます。今年は新しいシールを作成しましたので、これに全部貼りがえて下さい。

十二月初めに、各世帯三枚ずつ配布します。四台以上の自転車、バイクをお持ちの方は、管理組合事務所(分

各家庭で充分な話し合いを

薄暮パトロールを終えて

この秋、団地を騒がした痴漢事件ですが、十月二十日(火)を最後に被害の報告はありません。(十一月十三日現在)この間、お母さん方の有志(約三十名)とジャオの会のお父さん(約十名)、そして学童クラブ父母会(約十名)も参加して、薄暮パトロールを行ないました。こうした警戒態勢が功を奏しているものと思われま

◇ ◇

赤塚新町小学校の保護者から有志を募り、十月十五日から始めたゆり北の防犯パトロールは、ゆり北以外の方や、パトロールを見て参加していただいた方々の応援もあって、連日連夜、雨の日も行ないました。普段なかなかお話しすることのなかった自治会の方々と情報を交換しなが

譲住宅)、むつみ台管理センター(賃貸住宅)または自治会役員から追加分をもらって下さい。

自己所有の不用自転車は、ご自分で処分することが原則です。**粗大ごみ受付センター(五二九六)七〇〇〇**に連絡し、神勇酒店・やまさ書房・よしや光が丘店で取り扱っている「粗大ごみ処理券」を購入して貼付のうえ、粗大ごみ集積場に回収日の当日(十二月十四日・二十八日の予定)に出して下さい。

所有者不明の自転車については、十二月二十日(日)に回収し、十一号棟ビロテイに集積します。約一ヶ月保管の後、板橋区に引渡し、最終処分を行ないます。

ら、パトロールでしたが、パトロール期間中にも二件の痴漢被害が報告されるといいう状況でした。二件とも狙われたのは女子中学生でしたが、以前には小学生や大人の被害もあった様で、犯行時刻もさまざまでした。

平日のパトロールは、夕方とあって、主婦としてはとても忙しい時間で大変でしたが、他人事ではないと毎日パトロールに参加して下さる自治会の方や、いろいろな形で協力して下さる住民の方々の後押しもあって、三週間程でしたが、パトロールを続けることができました。

パトロール中に気がついた事としては、次の様な事です。

一・小学生が暗くなっても遊んでいる。

ゆり北でびん・缶の回収が始まってもう一年以上になります。びんや缶で一杯のコンテナを見て、あなたはどうか感じますか?「これだけの物量が、不燃ごみにならずにリサイクルされるようになって良かった」という気持ちですか? それとしてこれ等の物が、その後どのような経過をたどるのか、興味がありますか?

資源化センターでは、区内四ヶ所から集まったコンテナから機械や手作業で、缶は、アルミ缶・スチール缶に分けられ、生きびんは、一升びん・ビールびん・酢びん・各種ウイスキーびん等に。雑びんは、色別(白(透明)・茶・青・緑・黒)に選別されます。

リサイクルの状況を種類ごとに見ると、アルミ缶は造るのに電力をかなり消費するのでリサイクル品を使えば、それが三分の一で済むため、アルミ缶は高価で引き取られ、リサイクルされている。スチール缶の

考えようリサイクル

再生には、そういったメリットはなく鉄筋材にされるが、経済情勢により建築需要の少ない時は滞ってしまっています。最近では、ペットボトルの回収量が増えています。ペットボトルをリサイクルするには、お金を払って業者

に引きとってもらうが、それでも不燃ごみとして処理するよりコストが安いそうです。ペットボトルは粉砕し繊維にされ、マット等になります。

生きびんは、メーカーは直接引き取らず業者を介さねばなりません。ビールびんは、酒屋に持って行けば一本につき五円支払われますが、センターに集まった物は、業者の競売になり五円以下の値しかつかず、回収費用はそれを上回っています。

現在、私達の周りには物が豊富に回り、どんどん買い易く、使い易く工夫されています。魅力的な容器に入った物が、手軽に安価で手に入りますが、中身を使った後の容器はほとんどが必要なくなります。それらの容器は、後の始末を考えないで造られ売られて、ごみ処分場の満杯等、その処理に困る状況になって来ています。私達は、沢山の商品の中から、選りどりみどりに好みで買っているだけでいいのでしょうか?

もう一度、見直し考えてみませんか。生活環境部 佐藤晶子

少年犯罪は第四のピーク!

光が丘連絡協では、十月二十五日(日)午後七時より、第二回幹事会を開催しました。この会議では冒頭の約三十分で、光が丘警察署脇谷生活安全課長との懇談を行ないました。

そのなかで、最近の犯罪傾向(特に少年犯罪の激増)が報告されました。要旨はつぎの通りです。

○ひったくり事件が毎日の様に多発しています。練馬区内で年間二〇〇件、光が丘だけでも約五十件発生しており、被害者は中高年、犯人は少年が多くなっています。

○少年事犯は、第四のピークといわれている程多発しています(第一のピークは昭和二五年頃の戦後混乱期、第二は昭和四九年頃の東京オリンピック、第三は昭和五八年のバブルの

開始する時期) ○今回のピークの特徴は、殺人・傷害、強盗などの凶悪犯が多くなっていること、中学生年代の増加に見られる低年齢化、そしてファッション感覚で引きこまれていく薬物犯罪があげられます。

○足立、世田谷、練馬がワースト3で周辺地域に多発しています。光が丘の各団地でも、自転車、バイクの盗難や放火が多くなっており、自治会や管理組合では、対応に追われている様です。

有志代表

手作りが楽しい

ふるさと交流会

群馬県小野上村との「ふるさと交流会」も第三回（十月十八日・十六名参加）第四回（十一月八日・二十二名参加）と今年の日程が終わりまし

た。

第三回では、六月に植えたサツマイモの収穫と陶器づくりを行ないました。当日は、早期に駆けつけた台風の影響もなく、汗ばむ陽気になりました。子どもたちはいも掘りよりもカマキリやバッタを追いまわすのに懸命、女性軍は、いものつるの料理法に話しが咲きます。（湯がいて、油炒めして、醤油味で煮る―甘味が出てとても美味しい）

午後からは昨年に完成した「体験実習館」で陶器づくりに挑戦しました。

第四回目は、こんにやくづくりと郷土料理おきり込みを体験しました。



こんにやくづくりの挑戦は、ここで三回目の人もいて、講師役の役職職員もアドバイスに専念。ごつごつした芋がすべすべのこんにやくに変身するまで約一時間半、切って、ミキサーで砕いて、煮つめて、ニガリを

入れて固めて、湯がいて、さましてと工程をメモにとる人もいました。きつとゆり北文化展のワークショップで大活躍するでしょう。

さて、おきり込みは、うどんづくりがメインです。東京では、戦前・戦中世代でなければ体験した人は少なくなってしまいました。ねりあげるこつ、麺棒でのしていくこつ、切るこつなどやはり結構むづかしいもの

小野上村のPR!!

M.Y.

誰もが一度は見ていると思う「ふるさと交流会」のちらし。どこにでもはってありますよね。みなさんは、これに参加したことがありますか？私は今回で二回目の参加になります。

ふるさと交流会で行くのは、群馬県小野上村という所です。小野上村は、

自然が沢山あって、静かで、空気がキレイな所です。田舎といえば田舎です。田舎だから行きにくいと思う方もいるでしょうが、田舎だからし

村に住む人たちは、みんな心があたたかい人です。とくに、私たちが案内してくれる地元の今泉さんは、明るく、ゆかいな人なので、私たちは退屈しません。小野上村の中は三歩歩けば遊びにあたるといった感じなので、私は好きです。

私は今回、本来は四回ある講習の中の一回しか参加することができま

第四回目は、こんにやくづくりと郷土料理おきり込みを体験しました。

第三日目、夜半からの激しい雨の音で目を覚まします。天気予報も終日雨とのこと、停滞を決めこむ人が多いなかを出発しました。強い西風と吹きつける雨の中を、行き交う人もなく、黙々と登ります。鹿島槍の吊り尾根のお花畑は、高山植物の花盛りです。イワベンケイの雌株の朱い花が、目を引きました。冷池への下りでは、雷鳴が激しくなり、ビクビクしながら足を速めました。冷池と種池の小屋で一休止し、一気に下山。木崎湖温泉の民宿に一泊しました。四日間の交通費、宿泊費で締めて五万円。夏の小遣いは、これで完全消費しました。

第二日目、強い風が吹き、霧も深いなかを出発し、岩の稜線を行きます。地元の中学生十四人のグループの元気な声が前後します。五竜小屋まで二時間半で行きました。小屋では、早朝に空身で頂上往復に出かけた人が、三時間たっても戻ってこないとい寸した遭難騒ぎ。五竜岳の登り道で、道を間違えてキレット側に行ってしまったという本人に会い、奥さんが心配していますよ、と声を掛けると大変恐縮されていました。

それにしても、最近の山小屋では、フランス料理の特別メニューがあったり、生ビールが飲めたり（缶ビールではない）、飲料水はペットボトルで売っていたりと様変わりしていました。

防災訓練

10月25日(日)



秋の火災予防週間に先がけて十月二十五日（日）午後、「ゆり北防災訓練」を実施しました。午前中は管理組合の駐車場抽選がありましたので、始めての午後実施となりましたが、良い天候に恵まれすぎて、参加者は役員を含めて四十名と予定の半分にも達しませんでした。

訓練では、本部の設営訓練・器材の保管場所の確認をはじめに、通報訓練、初期消火訓練、救出訓練、応急救護訓練を密度濃く実施することができました。

つぎの防災訓練でも、実際に促した訓練を企画するとともに、一人でも多くの参加がある様、P・Rにも工夫をこらしたいと考えています。

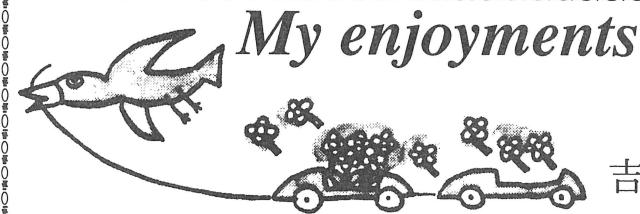


人でも真剣にやっていました。私は、つかれている人を見るのは嫌いだけど、生き生きとした表情の人が沢山いる小野上村は、大好きです!!

私は、次の講習会からは、部活のため、あまり参加はできないでしょう。

しかし、私はこの村の良さを沢山の人が知ってもらいたいです!!だから、こうやって作文を書きました。私の作文では、小野上村の良さが分からないかもしれませんが、いい所なので一度行ってみたい!!

以上で、私のPRを終わります。



吉柳俊孝

もう何回か登山記を「ゆり北」に書いてきたので、皆さんもご存知でしょう。高校の時に、山岳同好会に入ってから四十年になります。二十代のころは、ロッククライミングや冬山も登りました。子育て期間中の十数年間はファミリー登山。そして子ども達が巣立って、今は単独山行が多くなっています。

自然破壊を気にしつつも、便利さからマイカー登山が多くなりました。でも、帰宅すると肩がこったり、目が疲れたり、運動時の興奮からか寝つけなかったり、年令を感じます。

それでも今夏は、今まで歩いていない北アルプスの唐松岳から、爺が岳までの縦走に挑戦しました。

